

# JC

JCニュース News

本誌  
～創る長崎を創る  
大きな原動力のために～  
Junior Chamber  
International  
NAGASAKI  
2018

2018  
Vol.738 8

創 立 / 昭和27年12月1日  
承 認 / 昭和28年2月7日  
認証番号 / 36番  
理 事 長 / 光富 英治  
会 員 数 / 152名  
編 集 / 一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会

**JCI** Junior Chamber International NAGASAKI  
一般社団法人 長崎青年会議所

事 務 局 / 〒 850-0874 長崎市魚の町3番21号  
(マリンハイツ長崎202号)  
TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399  
E-mail office@nagasaki-jc.jp  
http://nagasaki-jc.jp/



Webサイトにアクセスできます

## TOP NEWS

### 理事長挨拶

### 第67年度 理事長・副理事長・専務理事 予定者紹介

- ふれあい合宿～心のつながり～ 事業報告  
仮入会員必修セミナー
- 7月例会・臨時総会
- 出前講座(諏訪小学校) 事業報告  
7LOM合同親善野球大会
- 65年をプレイバック「ながさき100km徒歩の旅」
- 卒業予定者インタビュー
- 事業告知 第5回ながさき100km徒歩の旅
- 事業告知 九州コンファレンス2018 in 天草



# 理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所

第66代理事長

## 光 富 英 治



まずは、7月上旬に西日本豪雨災害にて亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

先月の例会翌日、私も状況把握と物資の支援のために山下専務理事、川原倫彦君とともに広島へ赴きました。途中、北九州一小倉間において高速道路が通行止めになっていた以外は特に問題なく、約6時間かけて到着することができましたが途中豪雨の爪痕が多数見られました。今回、物資の受け渡しを広島市の隣の廿日市市内、広島JCMメンバーの倉庫にて、龍永理事長を始めとする広島JCMのメンバーと行い、その際被災状況を聞くことができました。訪問した当時(7月11日)は、広島市内中心部は比較的被害は少なかつたようですが、山間部の被害は非常に甚大かつたようです。広島JCMメンバー全員の無事は確認できたようですが、メンバーの会社や自宅が完全に水没してしまつたところもあるようです。又、広島ブロック内の幾つかのLOMにおいてはまだまだ判断を許さない状況で、これから安全確認や復興をしていかなければいけないところもある中、広島JCMが窓口となつてボランティアセンターとの連携を

行っているようです。それから約1か月が経りましたが、先日の台風12号の影響もあり、復興がまだまだ進まない状況にあります。我々長崎JCMは、73年前に被爆した都市として広島JCMと友好関係にあります。その仲間の地域では現在、復旧・復興に必要な人手が足りておりません。今後、長崎JCMとしても惜しみない支援を行つて参りたいと思ひますので、皆様のご協力を何卒宜しく願ひ致します。

さて、去る7月21日(土)・22日(日)に横浜の地におきまして開催されましたサマーコンファレンス2018に、多くのメンバーにご参加いただきましたありがとうございます。本年度は「日本創生への奇跡」と題し、政治・経済・国家、あらゆるジャンルのファンクションが開

## 私の履歴書 ④

光 富 英 治

1996年(平成8年)青雲学園高等学校に入学。青雲学園は中高一貫校であるが、中学から進学したのが約150名、高校からは約75名程度であった。創立より男子校であったが、自分の1学年より女子となり、自分の学年で約20名が女子であった。ちなみに、中学からの生徒を旧校、高校からを新校と呼び、同級生には旧校に中尾陽一郎君、新校に中川崇君がいた。青雲に入学して驚いたことが幾つかあるのだが、まず一番驚いたのが体育の授業がキツいことである。イメージ的には勉強ばかりやっていると想像がしたが、授業ももちろんのこと体育のキツさの比ではない。週3回の体育の授業のうち、1回は球技、1回は柔道若しくは剣道、そして残る1回はトレーニングである。このトレーニングの授業、1時間まるまるトレーニングかし

催され、大変多くの学びの機会とすることができました。日本JCMが行う運動の最も大きな発信の場、そして自己改革の大きな実践の場として位置づけられた本事業により、これからの日本、そして各地域の未来について考え、更には各人の新たな試みにつながる大きな糧とするこができたのではないのでしょうか。そして今回 渉外委員会の皆様のおかげで、大変多くの動員を行うことができました。渉外委員会の皆様、大変お疲れ様でした。

伏キリシタン関連遺産が世界文化遺産に登録されたことにちなみ、この長崎独自の文化や魅力をより市民の方々に知っていただくことと趣向を凝らした事業であり、多くの方々に共感いただいたと思います。2日目が台風で中止になってしまったことは非常に残念でありましたが、長崎の魅力発信の一助となったことは間違いありません。地域推進委員会の皆様、準備から当日まで大変でしたが、本年にお疲れ様でした。最後にありますが、本年度は各事業において天候に非常に左右され、特に今夏は異常な猛暑となっております。まずは自己管理から。JCMでの事業ももちろんのこと、各社業での熱中症対策は十分に行つていただき、JCM運動・活動に邁進していただければと思います。

ないものである。それも体育教師が日体大出身であったり、元自衛隊であったりするのでその内容が非常にエグい。今思ひ出しても吐きそうなどなのでその内容は控えたと思ひ。又、更に過酷なのが冬の授業で、ひたすら持久走である。青雲学園は時津の山の中にあるのだが、その校舎の周りをひたすら走るのである。なので、軍隊といったもあながち間違ひではなく、意外にも自分にとって良い経験であつたと後々思う。一方、勉強においては、新校はまずその授業のスピードに驚く。旧校に中3まで高1までの授業が終わつており、高1では高2までを終わらせる。そして高2から混合クラスになるので、新校は高1で高2までの授業を終わらせないといけないのである。これにはさすがについていくのが必死であつた。そして高2の2学期までに高3までの授業を終わらせ、後はひたすら模試を受けるのである。ちなみに、青雲学園においては音楽や美術の授業もないし、家庭科が年に1回あるだけである。修学旅行

もなし。成績は中の中くらいで特に可もなく不可もなく、それよりも本当に頭の良い天才がいるのだと思つた。教科書を1回読んだだけで全て覚えていたり、物理の問題も先生が解法がわからず生徒に聞くこともあつたりと、つくづく世の中には凄い奴がいると思つた。高2で文系か理系を選択するのだが、自分は理系を選択した。その頃、将来はパイロットになりたいと思つていた。その理由は、給料が良さそうでもテソうだったから。その次に、その頃やつていたドラマの影響で、デザインとかしたらカッコ良さそうという理由だけで建築家になりたいと思つた。そうこうしているうちに高3になり、大学進学をどうするかということになったのだが、別に好きな大学もなかった。「先生にお任せします」と伝えると、「じゃあ第1志望は九大で、第2志望は横浜国大だな」といわれたので、「わかりました」と答え決まつた。そのとき、九大は聞いたことがあつたが、横浜国大は聞いたこともなかった。パイロットになる

という目標があつたし、パイロットになるには宮崎にある航空大学に行かなければならないので、大学は途中で退学するつもりでどこでもよかった。それでも一応、高3の時は多少勉強したのでセンター試験は非常に良く、医学部も進められたが、血が苦手だったのでお断りした。しかし、センター試験の結果に調子に乗る、二次試験は楽勝だと思つてそれから全く勉強せずに遊んでばかりいたら、前期試験の九大に落ちてしまつた。そして、私立の受験で東京に2週間ほど滞在して東京という魔力にかかり、そこでも遊んでばかりいたため、慶応、早稲田など二通り受けた大学も全て落ちてしまつた。そんな中、とりあえず後期試験も受けるが、横浜国大が聞いたこともない大学であつたため、仮に受かつてもあまり行く気がせず、浪人するつもりだったので、これが意外にも受かつてしまい、そうならばじゃあ行くかと思ひ、夢と希望あふれる花の大学生活に突入するのである。

# ふれあい合宿～心のつながり～



青少年育成委員会

久保 康平 君

皆様、ふれあってますか～？というこ  
とで、去る6月30日(土)・7月1日(日)、  
日吉自然の家において、昨年に続き2回目となる、『ふ  
れあい合宿～心のつながり～』を開催しました。家庭の  
事情で親と生活できない児童養護施設の子も達に、多  
くの出会いと経験することの大切さを学んでも  
らうことを目的に事業を構築しました。初日の  
写真立て作りでは、パートナー同士で互いに  
作品を作り合うことでコミュニケーションも活  
性化し、距離感も縮まりました。又、最終日には  
パートナーとの2ショット写真入りの写真立  
てを交換することで、子ども達に心の中の思い  
出だけでなく、形あるものを残せてあげられた  
と感じております。2日間を通じて、誰かと協  
力して何かをやり遂げることの楽しさを感じ合  
うことができました。本事業ではJCメンバー  
も多くのことを考える機会になったと思いま  
す。私自身、子ども達のキラキラした笑顔を見  
ていると、せめて我が子に対しては、今以上に  
愛情を持って接してあげようと強く思いまし

た。それぞれ考え方は異なると思いますが、我々大人が  
社会的養護の実態を知り考え、社会全体で子ども達を支  
えていく必要があります。ご協力いた  
だいたメンバーの皆様、  
誠にありがとうございました。



# 仮入会員必修セミナー



会員開発交流委員会

藤崎 広倫 君

去る7月14日(土)、ホテル長崎におきまして仮入会  
員必修セミナーが開催されました。

セミナーでは、まずJC基礎講座にて青年会議所がどんな団体なの  
か、これまでの歴史や目的など基礎知識を学んでいただきました。

次に、第55代理事長 矢上純次先輩を講師としてお迎えし、JCに入会したきつ  
かけや在籍中にJCを通して得た学び、そしてかけがえのない仲間ができたお話  
などをしていただきました。仮入会員、理事役員ともに真剣に聞く姿がとても印  
象的でした。

ワークショップでは、それぞれのグループでまちづくり事業、青少年事業、担  
当例会に分かれて事業を考えていただきました。中には委員長のアドバイスもい  
らないくらい多くの活発な意見が飛び交うグループもあり、その流れで懇親会も  
楽しい交流ができたのではないのでしょうか。

今回の仮入会員必修セミナーを通して学  
んだことを、今後のJC活動に生かしてい  
ただくとともに、積極的に参画してい  
ただけることを願っております。

ご参加いただいた仮入会員、理事役員の  
皆様ありがとうございました。



# 専務理事 予定者紹介

皆さんはどういう人の話こそが説得力を持つと思いますか？ それは実体験をもとにした話ではないでしょうか。眼の前に出された食べ物が美味しいか美味しくないかなんて、実際に食べてみないとわかりません。いやいやでもいい、興味がなくてもいい。ただ、目の前に出された食べ物をとにかく食べてほしい。美味しいか美味しくないかは自己の判断です。しかし、ただ一ついえることは、この

食べ物が食べた人にとって美味しいか美味しくないかの体験はできたはず。自らの経験値が増え、自らの幅が広がったはず。安心して

もらっていい。青年会議所で出される食べ物に毒は入っていないのだから、皆さんには勇気を持って一步を踏み出し、青年会議所で多くのことを体験してほしい。

体験に勝るものはない。自らのレベルは体験しないと上らない。レベルが上れば上るほど、しなければいけない体験は多く必要になる。皆さん、青年会議所であらゆる機会を掴み、多くの体験をとおして自らをレベルアップさせてほしい。青年会議所を使えるのも40歳までです。40歳になると好む好まざるに関わらず卒業しなければならない。だから、40歳までに青年会議所に入会していない人との間で大きな差をつけていなければならない。青年会議所では失敗してもいいのだから、とにかく青年会議所を使いたおそうではないですか。

結びに、ともに自己成長に努めよう。地域のために、未来の子孫のための、そして、何より自分自身のために。全ては体験から。



一般社団法人 長崎青年会議所  
第67代理事長予定者 寺岡 誠三君

## 6年間の想いをこの1年に！

7月の総会では副理事長へのご承認ありがとうございました。私は62年度に入会し次年度の6年目に卒業となります。6年間お世話になった長崎JCに恩返しするべく、微力ながら寺岡予定者を支えていく所存です。宜しくお願い致します。



第67年度 副理事長予定者 加藤 良平君

## 自分が今できる以上のことを目指して

7月臨時総会ではご承認いただきありがとうございます。皆様からご承認いただいたことを忘れず、自分が今できる以上のことを目指して、寺岡理事長予定者を支えていきたいと思っております。



第67年度 副理事長予定者 岡部 真悟君

## いただいたご縁を大切に。

これまで多くのご縁と修練をいただきながら活動して参りました。皆様方からご指導いただいたことを肝に銘じながら、副理事長として恥ずかしくない姿をお見せすることができるよう頑張っていきたいと思っております。



第67年度 副理事長予定者 山本 裕人君

# 第67年度 理事長・副理事長

自分らしく。

簡単そうでなかなかできない自分らしく。次年度は副理事長という役職の重みを感じつつも2度目の機会をいただきましたので、型にはまらず自分らしさ全開で職責を全うしたいと思います。

第67年度 副理事長予定者 **峰 昇平君**



志高く！

歴代副理事長の先輩方とはとてもないオーラを持った方々ばかりです。私もそんな男になりたいという想いからこの重責を受ける決意を致しました。第67年度寺岡丸を支えられるよう精一杯精進して参ります。

第67年度 副理事長予定者 **野田 剛士君**

温存していたものは、全て吐き出す

重責にとっても緊張しておりますが、寺岡予定者や会の期待に応えられるよう気合を入れて次年度に挑みたいと思います。

これまでのJC活動や先輩方との交流の中で得た経験をフルに発揮し、会の皆様が円滑な組織運営の下、JC活動を楽しむことができるよう努めて参ります。

第67年度 専務理事予定者 **田添 太一君**



## 7月例会・臨時総会



総務委員会 副委員長  
**荒木 慶豊君**

去る7月10日(火)、7月例会・臨時総会が開催されました。

臨時総会では、第67年度理事長候補者である寺岡誠三君が次年度理事長予定者として承認されました。寺岡予定者の熱い想いや、今までJCで培ってきた経験や今後長崎JCはどうあるべきなのかを現役会員全員で聞くことができました。又、専務理事並びに副理事長予定者も発表され、66年間脈々と受け継がれてきたこの長崎JCの新たな時代の幕開けに際し、本気の覚悟を感じたのは私だけではありません。

臨時総会のスムーズな移動や進行をしていただきました現役会員の皆様には総務委員会一同、心より感謝申し上げます。



# 7LOM合同親善野球大会



長崎JC 野球部 監督  
山本 智昭 君

去る7月15日(日)、長崎県立総合運動公園野球広場におきまして2018年度公益社団法人日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会7LOM合同親善野球大会が行われました。

大会当日は、猛暑日でありましたが多数の正会員の皆様にご参加いただき皆無事に怪我なく終えることができました。ご協力ありがとうございました。

又、特別会員の皆様方にも激励とお気遣いをいただきこの場を借りて、御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、試合結果でございますが……今年もあえなく2回戦敗退。諫早JCさんに惜敗という結果で終わりました。この悔しさは次年度以降晴らしてほしいと願っております。

何より親善を深めることができたことに感謝致します。ありがとうございました。

随時、長崎JC野球部員募集中です。一緒にいい汗流しましょう！



# 出前講座(諏訪小学校)



青少年育成委員会  
安藤 嘉英 君

去る7月6日(金)、諏訪小学校6年生クラス、合計81名を対象に諏訪小学校内にて青少年育成委員会のメンバーで45分間の出前講座を実施しました。講座内容としては、まず、長崎JCの紹介映像により我々がどんな団体であるかを知ってもらいました。その後、「私達の住むまち」と題して、長崎の歴史や文化について、2人の講師による会話形式での発表を行いました。最後に、「お仕事紹介」と題して、長崎JCメンバーが普段どんな仕事をしているのかということを経験教育の一環としてクイズを交えながら紹介しました。最初は緊張していた子ども達も、池田君と久保君の前回よりもパワーアップした絶妙なコンビ術で、場の雰囲気をやかにし、子ども達の心を惹きつけることに成功しました。終わってみれば、子ども達に対しての講座でしたが、我々、大人も学ぶべきことがたくさんある出前講座となりました。今回のような事業をたくさん行うことが、将来を見据えた、長崎の活性化につながると確信しております。



## 【第8回】 ながさき100km 徒歩の旅

来たる8月22日(水)から「第5回 ながさき100km 徒歩の旅」が開催されます。この事業は「子ども達の生きる力を醸成すること」を目的に第62年度 青少年育成委員会(館林泰志委員長)の担当事業として第1回目をスタート致しました。

参加対象となる小学4～6年生の子ども達は、4泊5日の行程で100kmを徒歩で完歩するという経験を通して、心身ともに鍛錬されます。又、全行程で子ども達と寝食をともにし、旅でのサポート役を担う学生ボランティアについても、子ども達とのふれあいや指導を通して、自己の成長へと繋げることができます。

第1回目の団長を務めた中村 吉治 先輩(第62年度 理事長)の団長挨拶の中では、「『出きる、出きる、必ず出きる』の精神で一步一步前進すれば必ずゴールに到達できることや、仲間の大切さを知ったと考えます。4泊5日の間、100km完歩してもらうため、時には優しく、時には厳しく接しました。「自立」という観点から、自ら様々なことを考えてもらい、行動してもらいました。又、感謝する気持ちを大事にすることをいい続け、体験してもらいました」(引用：第1回 ながさき100km 徒歩の旅 報告書)との言葉がありました。

現在では実行委員会が発足し、長崎JCは事業当日の車両の運



転や荷物の運搬など裏方のサポートを行っています。事業参加したメンバーからは「子ども達の諦めずに頑張る姿に元気をもらった」、「学生ボランティアの成長した姿に感心した」との声が多く聞かれます。皆さんも是非この機会に事業参加し、子ども達から元気を分けてもらってみるのはいかがでしょうか？

(広報委員会/山崎 敏郎)

### 100km 徒歩の旅 豆知識

100km 徒歩の旅は、福岡県筑紫野市で一般社団法人つくし青年会議所が1998年に始め、全国に活動が広がっています。2017年は長崎を含め、全国15カ所の地域で開催されました。

JC  
ラスト  
イヤー!

# 卒業予定者 インタビュー!!

Q1. あなたがJCで特に影響を受けた人は誰ですか?

Q2. JCの思い出を教えてください。

Q3. 現役会員へ一言お願いします。



青野 悠君

- A1. 山口聡先輩。釜山において、JCが何たるかを身を持って教えていただきました。
- A2. フォローアップセミナーの懇親会後に記憶を失くし、目を覚ますと中島川付近でガチガチと震えていたこと。
- A3. 何事もお声掛けをいただけるうちが花だと思えますので、とりあえずやってみましょう!

- A1. 入会1年目の広報委員会の皆様。青松会の皆様。無知な私に、JCの基礎をしっかり教えて下さいました。
- A2. 色々ありますが、中村吉治先輩が委員長を務められた、第59年度九州ブランド確立委員会に出向してみたこと。1人ではできないと思っていても、出向メンバーとともに頑張れたこと。
- A3. まだ先ですが、全員で100周年記念式典に出席できるように頑張りましょう。本当にありがとうございます。



貞住 史華君



中島 隼人君

- A1. 土取美香先輩です。第59年度総務委員会では、総務室長として西野総務委員長が率いたメンバーを体育会系のノリで引っ張っていただきました。総務のことをはじめJCの色々なことを厳しさもありながら優しくご指導いただきました。お世話になりました。
- A2. JCIにはいろんな事業があります。会社では体験できないような事業を通じて、他のLOMの方や一般市民の方々と一緒に交流や参画ができて楽しかったです。
- A3. 長崎JCの仲間を大切に(特に同期生)。何事も感謝の心で、残りのJCライフを楽しんで下さい。

- A1. 山道英樹63拡大第一委員長と馬場雅朗64地域室担当副理事長。リーダーシップを見せていただいた気がします。
- A2. 海のターザン。自分の企画が皆様の会費で実現できたのは嬉しかったです。跳んでいただいた皆様ありがとうございました。
- A3. オモシロ楽しく真剣に。オールJCのときに見かけた印象的なスローガンです。真剣に楽しみましょう!



小野原善一郎君



西野 啓至君

- A1. 田村 健一郎 先輩、土取 美香 先輩、石川 純一 先輩、伊藤 信博 先輩 4人の先輩方には、私のJAYCEEとしての基礎を築いていただきました。その他にも書き切れないほど、たくさん先輩方にご指導、ご鞭撻いただきました。ありがとうございました! 感謝!
- A2. 第64年度に日本JCの総括幹事として出向した事。JCを辞めたいと真剣に考えた最初で最後の1年でした。その分、多くの学びと全国各地にたくさんの親友を得ることができました。
- A3. 「感謝」の気持ちを忘れず、「厳しく」「楽しく」JC活動に邁進して下さい!

## 事業告知

# 第5回ながさき100km徒歩の旅



会員開発交流委員会  
副委員長 大平 大樹 君

来たる8月22日(水)～26日(日)、「第5回ながさき100km 徒歩の旅」が開催されます。

今年で5回目となる「ながさき100km 徒歩の旅」ですが、小学生から過去最高133名の応募をいただき、抽選の結果105名の当選という形で本番を迎えます。



学生ボランティア説明会の様子



事業当日まで、大学生スタッフは本気で毎日勉強やアルバイトを両立させながら、準備など一生懸命取り組んでいます。

しかしながら、昨年と比較すると大学生スタッフの数が67名と減少し、これまで以上にJCメンバーのサポートが必要不可欠です。

「ながさき100km 徒歩の旅」の事業を成功させるためには、JCメンバー皆様のお力が必要です。

5日間、子ども達全員が無事に笑顔で100km完歩できるように、どうか皆様のご協力をいただきますよう宜しくお願い致します。

## 事業告知

# 九州コンファレンス2018 in 天草

九州コンファレンス2018 in 天草が来たる9月1日(土)、2日(日)に天草市民センターにて開催されます。

主催する公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会には多くの長崎JCメンバーが外向しており、特に山口知宏君はJCブランド確立委員会の委員長として「AWARDS KYUSHU 2018」を担当します。こちらは長崎JCがエントリーした事業（SANTA RUN IN NAGASAKI、ふれあい合宿～心のつながり～）が受賞するか注目です。

その他、通信インフラの整備が私達の仕事やまちの発展に果たす役割について考えるフォーラムや、働き方について考える講演・パネルディスカッション、防災に関するブースなどがあります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、長崎同様盛り上がりを見せる天草。外向しているメンバーの想いに応えるためにも是非とも大勢で天草に行きましょう！



JCI 公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会  
TAKE ACTION!  
九州コンファレンス  
2018 in 天草  
9/1土  
入場無料  
天草市民センター 熊本県天草市東町3  
通信インフラが切り拓く未来の可能性  
13:00～15:00 天草市民センターホール・展示ホール 中村 五木氏 三上 洋氏  
ワーク・ライフバランス インクルーシブ防災を体験しよう  
10:30～17:30 天草市民センターホール・展示ホール 12:00～17:00 天草市民センター 天草市立公民館 及び 展示ホール  
主催/公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会  
主催/一般社団法人天草市青年会議所  
協賛/天草市・上天草市・宇佐市  
お問い合わせ/一般社団法人天草市青年会議所  
〒863-0002 熊本県天草市東町3丁目179-1 TEL 0969-23-0018